

放送日 令和4年8月1日(月)
担当者 社会教育課 主事 佐藤 玄弥

おはようございます。社会教育課の佐藤玄弥です。

4月に入庁して、今日でちょうど4ヶ月が経ちました。毎日が刺激的で、あっという間に4ヶ月が経過したという印象です。

私は社会教育課のスポーツ担当として、主に学校開放事業や経理業務、ゴロッキー大会の運営などを担当しています。社会教育課の仕事はとても幅広く、毎日新しい業務に触れ、多くの経験を積ませていただいています。時に大変だと感じる業務もありますが、課の皆様をはじめ、多くの方々のサポートのおかげで充実した毎日を送ることができています。

今回は、私が業務の中で意識していることをお話しさせていただきます。

私が意識していることは、自分で考えてから質問するということです。入庁した際、課の先輩や上司に、聞くことは新人の特権だから何でも聞いてと言われてきました。確かに、初めての経験ばかりで、質問をしないと作業を進められないことが多々ありますが、自分の成長や相手に状況を分かりやすく伝えるためにも、自分で考えてから質問するようにしています。

ただ何でも質問するのではなく、一度自分で調べてから聞くことで内容を忘れにくくなったり、時には調べて答えが見つかることもあります。また、相手に自分の状況を把握してもらうために、考えた上で何が分からないのか、自分はどこまで理解しているのか、加えて「私はこう対応しようと思うのですがよろしいですか」というように自分の考えも伝えるようにしています。

自分だけで考えて分かったつもりになり、後に課の皆様や市民の方々に迷惑をかけるということはあってはなりません。少しでも疑問に思うことがあったら聞き方を意識しながら確認していこうと思います。

放送日 令和4年8月2日（火）

担当者 農業委員会事務局 主事 上野 礼

おはようございます。農業委員会事務局の上野礼です。本年4月に入庁し、周りの職員の方々の支えのおかげで5カ月目に突入しました。

私の配属された農業委員会は北広島市の農地を守ることが主な業務となります。普段の生活では通らないような場所へ行き、農地が正しく利用されているのか確認をします。4月から北広島市に住み始めた私にとっては、分からない土地の名前と分からない農家さんの名前そして、難しい農業の用語で繰り広げられる会話に、全くついていけず、上司の方の後ろをついて回る毎日でした。5か月がたちやっとな頭の中で北広島の簡単な地図を広げられるようになり、理解できる会話も多くなってきました。これは、何も分からない私に上司の方が一から丁寧に説明をしてくださっているのおかげです。普段の生活に絡まない業務こそ、自分のような分からない人に説明をする機会があると思います。相手のことを想った言葉遣いや言葉選びは相手の理解へ繋がると 생각합니다。

1年目だからこそ気付けたことを大切に、上司の方を見習いながら今後も業務に取り組んでいきたいと思っています。

放送日 令和4年8月3日（水）
担当者 消防課 技師 石澤 樹

おはようございます。消防課の石澤樹です。

私は今年の4月から消防士として採用されてから4ヶ月が経過しました。

初めの2ヶ月間は新任教育期間として基礎訓練に励み、慣れない環境に体力が削られる日々でしたが、同期と励まし合い乗り越えられることができました。

6月からは新任教育期間を終えて、当直勤務が始まり、実現場へ出動をする機会も増えてきました。初めての火災出動では間近で燃え上がる炎が想像以上に大きく、屋根が崩壊し窓ガラスが割れるさまが恐怖心を覚えました。その中で私は現場でどのように動けばいいのか分からなく不甲斐ない気持ちでした。

現場で活かせるよう日々の訓練を大切にすること、また、出動した際には先輩方の姿を見て習い少しでも役に立てるよう努めます。

私は、女性消防士としての役割を考えたとき、女性だからこその視点であったり、市民や傷病者への安心感を与えることができる存在なのではないかと思います。

北広島市消防署は現在4名の女性消防士が在籍していますが、将来的には増員することを目指し、後輩の女性職員が働きやすい環境を作ることとも目標としています。

放送日 令和4年8月4日(木)
担当者 消防課 技師 沢里 澄威

おはようございます。消防署消防課の沢里澄威です。

北広島市の消防職員として採用されてからはや4か月が経ち、時の流れの速さを実感しております。

さて、今日は私が普段仕事をするうえで心がけている視野を広く持つということについてお話ししたいと思います。

消防での仕事は事務作業などももちろんありますが他の職業と特に違う点があります。それは火災現場に行くということです。火災現場での活動は命に関わることがあり、尚且つ周囲の状況が刻々と変化していくため、様々なことに瞬時に気が付けるようになる必要があると私は考えています。実際に公務による負傷者数は全国で毎年1,000人を超えています。常に安全管理に気を配った状態でもこれだけの人数がいます。そのため、自分だけではなく周りの人の命を守るためにも視野を広く持ち安全を最優先で行動していかなければならないと考えています。そこで、通常業務の他にも業務が多岐にわたっているため指示をされてからやるのではなく、常に周りに気を配り率先してやることで、視野を広げていけることに繋がっていきえると考えています。

放送日 令和4年8月5日（金）
担当者 消防課 技師 齋藤 駿介

おはようございます。4月に消防署消防課に配属になりました、齋藤駿介です。

私は幼稚園の頃から消防士になることが夢でした。その夢を達成させることができ、期待に胸を膨らませる一方で不安な気持ちもありました。しかし、先輩方のサポートもあり少しずつ不安は解消され、充実した毎日を過ごすことができています。

さて、消防職員になり約4か月が経ちました。4月からの2か月間は研修期間として毎日訓練に励み同期とともに汗を流してきました。辛い時もたくさんありましたが、同期の仲間とともに励まし合い乗り越えることができました。仲間の存在が大きな力になるということを改めて痛感し、この先も仲間と切磋琢磨し合いながらお互いの成長に繋げていきたいと思いました。

6月からの2か月間は当直勤務に変わり実際に災害現場での活動も行っていくようになりました。実際に現場で活動していく中でどうすればいいのか、またできないことの多さなど自分の未熟さを痛感しました。この思いを忘れることなく、これからの訓練では失敗を恐れず積極的に様々なことに取り組んでいきたいと思います。

残り2か月程で消防学校に入校します。新たな仲間とともに技術面はもちろん、肉体的にも精神的にも磨きをかけていきたいと思います。

最後に、消防人そして社会人として成長できるようまずは元気で気持ちの良い挨拶をすること、そして初心の気持ちを忘れず一日一日を大切にしていきたいと思います。

放送日 令和4年8月8日（月）
担当者 消防課 技師 高坂 瑞稀

おはようございます。消防署消防課の高坂瑞稀です。早いもので4月に入庁して4か月、当直勤務が始まってから2か月が経ちました。私が勤務している消防課では、「消防士」と聞いて皆さんが想像するような災害対応の他にも消火栓や防火水槽など消防水利の維持管理や、消防訓練の対応など多様な業務を行っています。毎勤務様々な事が起きる中で、私が印象深かった出来事を今日はお話しします。

先日、保育園の消防訓練の立会に行きました。訓練が終わり、子どもたちが消防車の見学をしている際に「いつも町を守ってくれてありがとう」と沢山の子どもたちが照れながらも真っすぐに伝えてくれました。中には、キラキラした目で「どうしたら消防士になれますか」と聞いてくれる子もいました。その時に、改めて自分の仕事には大きな責任があるんだという気持ちと同時に、自分もそうであったように、子どもたちに夢を与えられるような消防士になりたいと強く思うことができました。まだまだわからないことばかりで未熟ではありますが、少しでも自分の目指す消防士に近づいていけるよう、先輩方のご指導のもと、日々精進していきます。

放送日 令和4年8月9日（火）

担当者 観光振興課 地域おこし協力隊員 円谷 翼

おはようございます。観光振興課の円谷翼です。私は8月1日に北広島市ではじめてとなる地域おこし協力隊員として着任いたしました。

地域おこし協力隊員の目的は、「地域資源を活用した事業の提案・企画、観光商品の開発、観光協会と連携した取組」など観光で地域を盛り上げることです。今後各方面の皆様にお力添えいただく事があると思いますので、よろしく願いいたします。

私が観光振興において現在必要だと考えている事は、点と点である各地の観光資源や取組を、一つの線やパッケージとして、誰にでも受け取りやすく発信していく事です。「キタヒロにはこんな良さもあるんだ、いってみたい。また来たい。」と思ってもらえるツールを今後作っていく予定です。

辞令交付時に上野市長から「まずは地域の特色や歴史を知って欲しい」とのお言葉をいただいた通り、最近は市内見学やイベントの運用など、自身が知らない様々な資源やスポットに触れて、刺激的な毎日をごしております。このワクワクした感覚を周りにも伝えていきたいと考えております。

今後とも市内外にアンテナをはり、北広島の良さを発信してまいります。